

町内各小学校で運動会開催 元気に躍動する子どもたち

5月16日から24日にかけて、町内各小学校で運動会が開催され、5月17日、荒川小学校（田中眞喜子校長、児童38人）で、平成27年度運動会が開かれました。開会式で赤組と白組のキャプテンが「力を発揮し、チーム皆で協力して競技します」と宣誓し運動会がスタート。当日は強風に見舞われましたが、児童らは元気に徒競走や綱引き、紅白玉入れなどで競い合いました。午後の部では、1～6年生による荒川念仏剣舞が披露され、会場を訪れた家族らは子どもの元気な姿を見て楽しみました。



豊間根川河川敷に広場開設 住民の交流活性化へ期待

豊間根川河川敷に、地域住民の交流を目的とした広場が設けられました。これは震災により転入者が多くなった豊間根地区のコミュニティ形成を促進しようと、三陸国道事務所や町、地主、地元業者の支援を受けて八千代自治会（佐々木建彦会長）が開設したものです。5月14日、完成を祝うマレットゴルフ大会が行われ、21人が芝の感触を楽しみました。佐々木会長は、「支援に感謝します。これからは地域住民が交流し、運動を気軽に楽しめる場としたいです」と、今後の目標を話していました。

豊間根地区で交通安全啓発 交通事故の撲滅訴える活動

スピードを控えて安全運転を——。5月11日、町交通安全対策運動協議会（会長・佐藤信逸町長）による春の交通安全街頭啓発活動が、豊間根・田名部地区の国道45号線沿いで行われました。これは、春の全国交通安全運動の一環として行われたもので、町交通指導隊や町交通安全母の会、航空自衛隊山田分屯基地の隊員など44人が参加。ドライバーに「後部座席のシートベルト着用を」などと呼声掛けながら交通安全啓発のチラシやティッシュペーパーなどを手渡し、交通事故ゼロを訴えました。



よく食べよく寝るが長寿の秘訣 織笠・中村さんが100歳を祝う

織笠の中村三右衛門さん（大正4年生まれ）が、5月10日に満100歳の誕生日を迎えました。同日、中村さんの自宅を佐藤町長が訪れ「100歳おめでとうございます。元気な笑顔がとても心強い。いつまでも長生きしてください」と、長寿を祝福。しっかりと握手で応える中村さんに、お祝い金を手渡しました。若い頃はよく旅行し、九州や沖縄にも行ったことがあるという中村さん。「偏食をせずにご飯をしっかり食べ、そしてよく寝ること」が長生きの秘訣だそうです。



町のわだい

今月の題字 昆穂乃花さん（織笠小2年）



三陸山田カキ祭り開催 食べてすくってカキを堪能

4月29日、山田魚市場特設会場において「三陸山田カキ祭り」が開催されました。昨年復活したイベントで、今回で11回目の開催です。会場ではカキやホタテなどの海産物の販売やカキ汁のお振る舞いが行われたほか、屋外に設置されたバーベキューコーナーでは、大勢の人が買ったばかりの新鮮な海産物に舌鼓を打ちました。また、山田吹奏楽団と本町出身の歌手・堀トオルさんが音楽と歌を披露。例年行われているカキ・ホタテの2本かぎすくいには大勢の人が参加し、参加者が上手にカキをすくうと会場からは歓声上がり、大いに盛り上がりました。

織笠小の児童が田植え体験 農業通して食の大切さ学ぶ

緑い茂る山々に囲まれた水田に小さな足跡が残されたのは5月15日。この日、白石地区の水田で織笠小学校（鎌田達也校長）の3・4年生12人が田植えを体験しました。これは、児童に農業を通して食の大切さを学んでもらおうと白石集落農業生産組合（越田正一郎組合長）の協力で行われているものです。「なかなか前に進めないね」と泥の足場に苦戦しながらも一生懸命に苗を植えていく児童。田植えを終えた児童らは「お米を作る農家のおじいちゃん、おばあちゃんたちの苦労が分かりました」と話し、農業と食の大切さをしっかり理解していました。

